



紙面では
伝えきれなかったことを
ホームページで
公開中です

力を合わせ、着実に、一步一步。

私たちのまちなかを 未来につなぐために

「今までにもいろいろな動きがあったと聞いています。その中で積み上げたこともあるし、それを除外して新たに積み上げていくことも、これからは考えなくてはいけない」と奥田教授。

長年にわたって、さまざまな取り組みを進めてきたまちなか。効果があつた取り組みよりも、なかなかうまく進まなかったことの方が多いかもしれません。それでも試行錯誤を続け、近頃起きている新たな動きによって、歯車がゆっくりとですが、再び未来に向けて動き出しています。

実際、まちなかの空き店舗は年々減少。出店希望者も増えていて、今後ますます店舗の増加が期待されます。また、まちなかを訪れる人も増加傾向に。休日の通行量が平成27年に比べて、昨年は増加したという調査結果もあります。まだまだ課題は多くありますが、このように少しずつ結果が出ています。

座談会に参加した皆さんは、まちなかでの新たな動きに期待していると口をそろえて言いました。

しかし、まちなかでの動きを知らない、自分には関係ないと、どこか他人事と思う人も多くいるのが現実です。でも、前橋の人であれば必ず知っている場所であり、何かしら思い出がある場所ではないでしょうか。そんな場所が、他にいくつもあるでしょうか。そう考えると、今まちなかはどんな様子なのか、こんな場所になったから楽しそうだなと、少しまちなかのことが気になってきませんか。

植木さんはこう言います。「昔みたいにさ、前橋中の人にまちなかはいいところだよって胸を張って言ってもらいたいよね。前橋といたらここ、まちなかだから」。このまちなかは、私たちのまちなかです。前橋にとって、そして私たちににとって大切な場所だと誇りを持ち、未来に引き継いでいかなければなりません。

誇りを持ち 未来につなぐ

まちなかでの取り組みは1年、2年で大きく変化するものではないかもしれませんが。何十年と時間がかかるかもしれません。

ですが、まちなかでは確実に新しい動きが起きています。これを一過性のものにせず、着実にその歩みを進めていこうと、皆が本気でまちづくりに取り組んでいます。

時にはイベントで人との交流を楽しむ。時にはアートや芸術に触れる。時にはコミュニティに参加する。そんな新しいまちなかの楽しみ方が続々と生まれています。

植木さんと黒田さんは、「若い人が頑張っている。私たちまちの人間も、一緒に頑張っていきたいよね」と、決意を新たにしています。

そして、彼らの取り組みに力を与えるのは私たちです。まちなかは、市民に愛され、訪れてもらい、楽しんでもらうことで元気になっていきます。

まちなかに新たな価値を。私たちのまちなかを、私たちの手で未来につなぐ挑戦は続きます。

